

### 第3学年O組 美術科学習指導案

令和7年〇月〇日 〇曜日 第〇時 (美術室)

指導者 〇 〇 〇 〇

#### 1 題 材 わたし自身を見つめて (絵や彫刻など)

#### 2 題材の目標

- (1) 構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解することができる。材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表すことができる。
- (2) 自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

#### 3 学習の計画 (7時間完了)

- 第1次 第1時 自画像を鑑賞し、作者の心情や工夫を知る。  
 第2時 (本時) 主題を決め、自分の心情や顔の表情、構図を考えながら構想を練る。  
 第2次 第3時～第6時 描画材料の特性を生かし、制作を進める。  
 第7時 完成した作品を鑑賞する。

#### 4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - 自分の心情から主題を決め、構図を考えたアイデアスケッチを描くことができる。
  - さまざまな視点からアイデアを練ろうとする。
- (2) 準備・資料
  - 生徒……鉛筆、消しゴム、生徒用タブレット端末、資料となる写真等
  - 教師……参考作品、ワークシート(①ウェビングマップ用、②アイデアスケッチ用、③グループ活動用)アイデアスケッチ用紙、タブレット端末、付箋
- (3) 関 連
  - 1年 美術 人間っておもしろい (絵や彫刻など)
  - 2年 美術 視点の冒険 (絵や彫刻など)
  - 3年 美術 あの日を忘れない (鑑賞)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
方向付け	1 前時の学習を振り返る。 ○ 美術作品の鑑賞を通して、作者の心情や表現の意図について話し合い、その工夫やよさを知る。	5	○ 本題材では、自分の好きなことや物などをモチーフに使用することで、今の自分を表現することを押さえる。 ○ 前時に鑑賞した美術作品を提示し、表現の工夫を振り返る。
課題の把握	2 本時の課題を知る。 自分をみつめて、主題を決めよう。 ○ ワークシートの使い方と、本時の活動内容を知る。		

課題の把握	3 主題を基にアイデアスケッチをする。 (1) 主題を決める。 o 自分の性格や特性、心情、夢、好きなものや熱中していることなどを基に、主題を決める。 (2) 描くモチーフの構想を練る。 (3) 画面構成を考える。 o タブレット端末で、自分の姿を撮影する。 o 自分の姿を拡大・縮小して大きさを決める。 o 自分の姿の位置を動かし、配置のバランスを見る。	25	o ワークシート①を配付する。 o 今の自分について客観的に捉え、自分を中心としたウェビングマップを作成させる。 o ワークシート②を配付する。 o タブレット端末上でモチーフの大きさや配置を考えさせることで、さまざまなパターンの構成を試させる。 o 画像編集機能を使い、モチーフを合成して、完成予想をイメージさせる。 <b>評</b> 自分の姿や表情、背景等と主題との関連を意識し、構図を考えてアイデアスケッチを描こうとしている。 (ワークシート)
	4 意見交換をする。 (1) 小グループでアイデアスケッチを交換する。 (2) 付箋にアドバイスを記入し、ワークシート③に貼る。	35	o ワークシート③を配付する。 o 互いの作品をよりよくするための活動であることを意識させ、作品批判にならないように留意させる。 o 相手からの意見は全てアドバイスとして捉えさせる。
	5 アイデアをまとめる。 o アドバイスを取捨選択する。 o アドバイスを参考にして、アイデアをまとめる。	45	<b>評</b> さまざまな視点から考えて、今の自分を表現するために必要なアドバイスを取捨選択し、アイデアを取り入れている。 (アイデアスケッチ、観察)
	まとめ 6 本時の振り返りと次時の学習内容を確認し、後片付けをする。 (1) 本時を振り返り、今後の制作への見通しをもつ。 (2) 各用具、作品を回収する。	50	o 学習内容を、要点を絞って確認する。 o アイデアスケッチを回収する。

#### (5) 本時の評価規準

- o 自分の心情を作品に表現することを意識し、今の自分を表現するために必要なことを取捨選択してアイデアにまとめている。  
(アイデアスケッチ、観察)
- o 完成予想をイメージし、いろいろな構成を主体的に試して作品に生かす方法を考えようとしている。  
(ワークシート)

### 5 備考

#### (1) 学級の実態

- o 本学級の生徒は、技能面に自信がもてず、出来上がった作品を鑑賞し合うときに不安感を感じている。級友同士で作品のよさを伝えることで、制作意欲を高めている。

#### (2) 指導の力点

- o タブレット端末を活用して、さまざまな構成を試させることで視覚的にイメージしやすくし、主体的に工夫する機会をつくることを考えた。

### 6 指導と評価